

# 平成29年度自己評価結果公表シート

作成 川口聖マリア幼稚園

## 1、 本園の教育目標

情操豊かにたくましく  
他人を思いやる心を育成することを目標とする

## 2、 評価項目の達成及び取組状況

保護者と幼児の共通理解を図れるよう、懇談や意見交換の場を設け保育内容の向上をはかる。  
子どもの発達に合わせ力を発揮できる環境を考え、充実した活動ができるよう援助方法などを考える。

## 3、本年度、重点的に取り組む目標・計画

| 評価項目  | 取組状況  |
|---|---|
| 保育計画の評価・反省について、次の保育に生かせるよう取り組む                      | 毎日の保育を振り返り、良い点は継続しながら・反省点をあげると共に他の保育者の意見を取り入れ、計画を立て直し実践するよう努める。 |
| 子どもの成長に応じ主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活ができるようにする             | 子どもが頑張ったところなどを具体的に知らせ、自信をもって次の段階に行けるように心掛ける。                    |
| 異年齢での関りを作り、自発的に思いやる行動や言葉が発信できるように努める                | 普段の保育の中では機会が少なかったように感じるが、行事などで褒めることで憧れや感謝の気持ちを持てるよう努める。         |
| 自然災害・防犯への理解を深め、日ごろから子どもたちへ知らせるとともに、緊急時の対策確認や安全点検を行う | 避難訓練・出前講座を通して考える機会を持ち、意識付けができています                               |

#### 4、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員間では幼児のことについて情報共有はできているが、対応が統一できない部分もあった。子どもの発達が全体的にゆっくりになっていることを考慮し、計画や展開を考えていくのが、今後の課題となる。

保育者だけでなく外部の指導があることで災害や防犯への意識付けは出来てきたが、訓練と実際では違いが出てくるため、教職員は冷静に行動できるよう普段からの備えが大切であることを再確認した。今後も継続的に訓練等を行っていくことが必要である。

#### 5、 今後取り組むべき課題

| 課 題       | 具体的な取り組み方法   |
|-----------|--|
| 指導計画の編成   | 前年度を基に園を取り巻く環境や、気になる子ども、特別支援教育といった子どもの実態に即した個別指導計画の編成に取り組んでいく。   |
| 異年齢の交流    | 保育者が中に入りきっかけづくりをしながら異年齢の関わりを増やし、小さい子の面倒を見たり年長者に、憧れの気持ちをお手るようにする。 |
| 子どもの体力づくり | 遊びの中に体を動かす活動を取り入れ、体を動かす楽しさを知らせることから始める                           |

#### 6、 学校関係者の評価

・概ね日々の努力は認められ特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

#### 7、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。